

第90回国立歴史民俗博物館運営会議議事要旨

日 時 令和6年3月8日（金）14:00～15:35
場 所 国立歴史民俗博物館 大会議室 及び Zoom会議
出 席 者 [館外運営会議委員]
市澤委員（副議長）、江村委員、小澤委員、木川委員（Zoom）木下委員、
坂上委員、鈴木委員（Zoom）、徳丸委員（Zoom）、Batten委員（Zoom）
[館内運営会議委員]
山田委員（議長）、関沢委員、小倉委員、坂本委員、高田委員、三上委員
大久保委員、林部委員、日高委員
欠 席 者 梅崎委員、村上委員、松木委員
陪 席 者 館長、管理部長、総務課長、財務課長、研究協力課長、博物館事業課長、
総務企画係

会議開会にあたり、西谷館長から挨拶があった。

続いて、総務課長から、定足数の説明があり、出席委員18名により本会議が成立している旨報告があり、併せて配付資料の確認が行われた。

○議 事

（1）前回議事要旨確認

山田議長から、資料1に基づき、前回（令和5年12月7日開催 第89回国立歴史民俗博物館運営会議）議事要旨（案）の確認が行われ、原案どおり承認された。

（2）審議事項

①館長選考手続きに関する申合せ等の一部改正について

山田議長から発議があり、渡邊総務課長から、資料2、資料3-1、資料3-2、資料4-1及び資料4-2に基づき、令和5年10月26日の運営会議において、館長候補者選考委員会からの申送り事項となった3件に対して、館での検討に基づく改正案について、説明があった。

審議の結果、「国立歴史民俗博物館館長選考手続きに関する申合せ」及び「適任者名簿作成に関する申合せ」の一部改正について、原案どおり承認された。

②名誉教授の選考について

山田議長から発議があり、次いで、西谷館長から略歴について説明があった後、木下教員候補者選考委員会委員長から候補者の功績等について、資料5に基づき説明があった。

渡邊総務課長から、票決数の確認が行われた後、Zoomの投票機能による投票が行われ、投票の結果、藤尾慎一郎教授への名誉教授称号授与が承認された。

（3）報告事項

①教員候補者選考委員会報告について

・令和6年度客員教員の採用について

木下教員候補者選考委員会委員長から、資料6に基づき、令和6年度客員教員について、継続2名、新規1名の計3名の採用について、報告があった。

・令和6年度特別客員教員の委嘱について

木下教員候補者選考委員会委員長から、資料7に基づき、令和6年度特別客員教員について、継続4名、新規3名の計7名の委嘱について、報告があった。

・令和5年度特任研究員及び非常勤研究員の採用について

木下教員候補者選考委員会委員長から、資料8に基づき、令和5年度特任研究員1名、非常勤研究員1名の採用について、報告があった。

②歴博ホームページのリニューアルについて

山田議長から、歴博ホームページのリニューアルプロジェクトの代表としてリニューアルの経緯について、説明があった。次いで、プロジェクト担当の上野准教授より、リニューアルの概略について、説明があった。

江村委員から、歴博の研究情報やデータベースを参考に行っている研究所では、リンクを貼っているところもあるので、URL変更した旨を周知した方がよいとの意見があった。

市澤委員から、多言語化をどのように進めているのか質問があり、上野准教授から4か国言語に対応し、自動翻訳機能を活用する旨、説明があった。

③歴博の活動状況について

山田議長から、資料9に基づき、歴博の活動状況について報告があった。

坂上委員から、研究報告の電子化について、古い研究報告は一部のみですべてがリポジトリに掲載されていないので、今後はどのように掲載していくのか質問があり、小倉委員から今後は電子化するので、すべてリポジトリに掲載するが、画像の解像度が低くなってしまうという懸案があり、高精細画像等を掲載できるように調整しているところである旨、説明があった。

坂上委員から、研究報告がリポジトリに掲載されたらホームページだけではなく、お知らせをしてほしいとの意見があった。

木川委員から、論文が閲覧・ダウンロードされた件数を確認することは可能か質問があり、小倉委員から、歴博ではJAIRO Cloud（国立情報学研究所提供）を利用して、システムの更新により不具合も生じており、件数を表示できるのかは確認する旨、発言があった。

木下委員から、画像の解像度については上げてほしいと思っており、歴博の研究報告は、写真・細かい図面・グラフ等が大事なので、解像度が低いものは差し替えてほしい旨、意見があった。

市澤委員から、紀要や論文をWeb化したことにより、過去の紙媒体が破棄されてしまうことがあり、電子化されていない論文を探すのに苦慮することもある旨、意見があった。

江村委員から、国立国会図書館の書誌データベースでは紙媒体として納本されないと掲載されないので、研究報告がデジタル化を行い継続して刊行していることがわかるように対応してほしい旨、意見があった。

(4) その他

①令和6年度執行部について

西谷館長から、資料10に基づき、令和6年度執行部について報告があった。

(5) 館長挨拶

西谷館長から、委員の任期満了となる小澤委員、木下委員に対し謝辞があった。

また、名誉教授称号授与が承認された藤尾慎一郎教授の功績について、韓国との国際交流の礎を築き、韓国の研究者とゆるぎない信頼関係を構築してくれたと発言があった。